

第二期 倫理部会 第12回会合 議事メモ

日時:2021年2月6日 13:30～

手法:ZOOM

○前回の議論で、対象者毎に、システムと倫理を併記すること、また環境文明が既に積み上げてきた持続性の知恵をベースとして考えることについて、ご意見はあるか

システム 例：地産地消の仕組みを作る、地域通貨、地方税の拡大 etc



(環境) 倫理 例：お隣さんとの繋がりを大切にする

- ・表記や伝え方を工夫すればいいのではないか
- ・現在はそれが実践できる状況にない。だからシステムが必要ということ
- ・若い人に物欲があるかと言えばあまりない。コマーシャルに踊らされて新しいものに買い替える。それをどうするかが問題
- ・環境文明の持続の知恵は持続的だった江戸時代から得た知恵。現在とは異なるので、勿論その点は考慮する必要がある
- ・西洋化した国が先進国という概念が定着しているが、決してそうではないと思う。それをどう考えるか
- ・システムとは何か
- ・現在の資本主義に問題があり、それを変えるという方向性はこのグループでは同じ方向性だと思う。しかし、一足飛びにできるわけではないので、少しずつどう変えられるかを考えている
- ・価値観と社会の仕組みをかえていく。倫理と実践。価値を具現化する仕掛けがシステム
- ・システムと言った場合、資本主義のようなマクロなもの、選挙制度などマイクロなもの、自分たちが関与できるコミュニティレベルのものといろいろある。
- ・ここではいろいろなレベルで考えればいいのではないか。
- ・具体的な事象で考えていく方法もある。たとえば、車、スマホ、量り売りなど対象に価値観とシステムを考える
- ・脱炭素につながるものがいいのではないか
- ・過去に学び新しいものを加えていく。日本と西洋の良さなど
- ・説教臭い言い方は避けて、happyな体験を載せていくのはどうか
- ・具体的なイメージは？
- ・日本の知恵の8項目を現代風に言い換える必要もある
- ・例えば、政治家の本来の役割を考える。政治家は理念を実践する、その道筋を作ることではないか

【次回までの作業】

○それぞれ対象者の本来の役割を明確にして、8項目、又は「生き残りの戦略」に沿った内容を各自が提案し、それをたたき台に進めていく。

・8項目で要らないもの、追加したいものがあれば、適宜作り替えていく

・政治家(選挙される人、する人)

・親

・消費者

・若者

・教育者

【若者】

○役割……次の世代の担い手。持続可能な

○倫理

・自分の幸せをみんなの幸せに広げよう

・空気や水や大地を守れば、人間の(私たちの)命も守られることを覚えておこう

・モノを増やすより、仲間や知恵を増やそう

・

・自由には責任が伴うことを忘れないようにして、自由を楽しもう

・あなたに命を繋いだ人や

・良い欲望と悪い欲望を見分けて、

対象者	本来の役割	倫理	システム
政治家		(1)	
親			
消費者			
若者	次の世代を担う		
教育者			

例えば、「日本の持続性の知恵」

- (1) モノへの執着より精神的な豊かさや心の平安を重視していた
- (2) 自然と同化し、自然との共生の精神を基盤にしていた
- (3) 足るを知る、自足の心を持っていた
- (4) 輪廻、循環思想が根付いていた
- (5) 調和を大切にし、家や地域などの集団の存続を重視していた
- (6) 精神の自由を尊ぶ気風があった
- (7) 先祖崇拝や先人を大切にすることで命や暮らしをつないでいた
- (8) 教育の価値を認め、次世代を愛し育てることに熱心だった

例えば、「生き残りへの戦略」：共生、互助・利他、ほどほど、中庸、知足、理に沿う
持続性、豊かな人間性、有限性 etc

